

## ポーセラーツ倶楽部メンバー・インストラクターの皆さま

重要

# ポーセラーツ インストラクターカリキュラム 【転写紙コース】【上絵の具・装飾コース】 ご指導にあたって

2019年9月よりポーセラーツインストラクターの資格申請カリキュラムが【転写紙コース】と【上絵の具・装飾コース】の2段階に変更になりました。その後に、インストラクターの皆さまからいただいたお問い合わせやご注意いただきたい点などをまとめましたので、必ずよくご確認ください、今後のご指導をお願いいたします。

※以前にご案内した内容も含まれております。

※メンバーの方は該当部分のみご確認ください。

## Contents

カリキュラム全般 …………… 1	【上絵の具・装飾コース】チェックシート …………… 4
チェックシート全般 …………… 1	申請書類 …………… 5
チェックシート添付写真 …………… 2	チェックシート訂正・変更点 …………… 6
【転写紙コース】チェックシート …………… 2	

## カリキュラム全般

- メンバー、インストラクターの資格を取得するための技術を学ぶカリキュラムです。生徒さんが制作したいデザインのものとは別にお作りいただくことにし、技術の伝達をメインとして、ご指導ください。自由にデザイン可能な課題では、技術に合わせて、規定に沿った上でデザインを考え、課題の技術は多数取り入れてください。作りたいデザインを優先させると、技術の習得が不十分な場合があります。特にオリジナルデザインで制作する課題では、技術を習得できるように、カリキュラムで学んだ技術・技法を多く、広範囲に絵付けするようにご指導ください。特に卒業制作はそれまで習ってきたことの集大成となります。カリキュラムで学んだ技術・技法を多数、効果的に使用してください。
- チェックシートの課題作品を制作すればよいのではなく、テキストの内容もすべてカリキュラムとして学び、身につけます。実習だけでなく知識も重要です。また、課題作品がうまく仕上がらなかった場合は修正などをしてください。明らかに失敗で修正できない場合は再制作します。いずれもチェックシートに記録してください。
- カリキュラムは順番通りに学んでいくことを想定しています。各Lessonで作品を制作するときに、そのLesson以降に習うことは取り入れないでください。また、各コースの中では順番が前後しても構いませんが、コースをまたいで進行しないでください。

- 各レッスンで、制作規定に「見本作品通りのデザイン」「見本通りに制作」などとある場合は、記載があるとおりに制作することが課題です。上下をずらしたり、左右を反転させたり、部分を変更したりせずに、見本通りに制作してください。
- 課題としてデザインを施すのは、白磁のメインとなる面にしてください。

## チェックシート全般

- 確認印は必ず押印してください。
- ＊[転写紙コース]チェックシートLesson10の3ページにも必ず押印してください。
- 見本作品や参考作品の選択制使用教材は各チェックシート3ページの制作手順記入欄に記載してあります。
- カリキュラムでは、盛り転写紙、金下転写紙、クリンカー転写紙は学びませんので、作品制作には使用しないでください。
- 記入欄( \_\_\_\_\_ など)がある場合は、必ず記入してください(チェックシート表紙、選択制教材の教材番号と教材名、何に見立てたか、完成日、生徒及び指導者の氏名と会員番号など)。教材番号、教材名などは正式なものを全て正しく記入してください。
- 課題で指示されている以外の加飾はしないでください。作り直しになります。

- 作品写真は正確に確認できるものを貼付してください。確認しにくい場合は角度を変えて部分をアップにした写真を複数枚貼るなど工夫してください。
- 図案・型紙を写す時に使用する「セルフコピー紙」と「非油性カーボン紙とトレスフィルム」の使い分け、また、アタリ・印を付ける時の「スタビロ鉛筆」と「ゼブラマッキー極細(青)」の使い分けは作品と使い勝手に応じて各自で判断してください。ただし、どちらか片方しか使ったことがない、ということがないように、使い方はすべて課題作品の制作を通して実習してください。(【転写紙コース】テキスト23ページ参照)
- [選択制転写紙]は1種類でなく、何種類か組み合わせて使用しても構いません(例えば、モノクロローズのピンクとブルーを組み合わせる、など)。また、必要に応じて1枚でなく複数枚使用してください(特に【転写紙コース】Lesson3はG089を1枚では分量が足りません)。
- 焼成回数はチェックシートの制作手順で明記されている通りにしてください。その時々に適した焼成温度の範囲であれば焼成温度の変更は構いません。ただし、修正以外の焼成回数の変更はしないでください。焼成温度を変更した場合はチェックシートの制作手順の欄外、または、生徒メモ欄に記録してください。
- オリジナル作品が課題のLessonでは参考作品など他の作品の模倣はしないでください。

- 制作手順を生徒さんが記入する課題の際には、指導者の指導の下、どこに、何を、どうしたのか、焼成温度は何度か、などを生徒さんがご記入ください。最初に手順(焼成計画も含む)を考えてから実際の作品を制作します。他のLessonの制作手順の書き方を参考にしてください。

例:×柄転写紙を貼った。

◎柄転写紙のバラの部分をハサミでカットしてカップの背面に貼り焼成(800℃)。

×ポットに転写紙を貼って、絵の具を塗った。

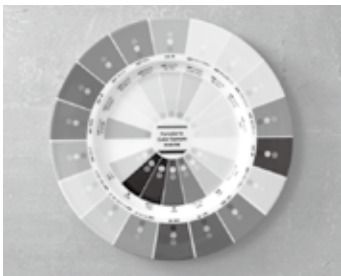
◎ポット本体に転写紙を分解構成(変形)して貼る。ポットのふた全体を上絵の具(キングブルーとホワイトの混色)でスポンジング。焼成(800℃)。

## チェックシート添付写真

- チェックシートに印刷された写真はスペースの都合で小さくしていますが、皆さんが実際に貼付する写真は一般的な大きさの写真で結構です。必要に応じて枚数は増やしても構いません。指定場所に貼り切れない場合は、別のA4サイズの用紙に貼付し、お名前を記入し添付してください。
- 各チェックシートに貼付する写真は制作課題の作品全体と必要に応じて課題それぞれが確認できるように部分の撮影・プリントをしてください。不明瞭な印刷、判別できないボヤケや色、大きさにご注意ください。画像の加工はしないでください。

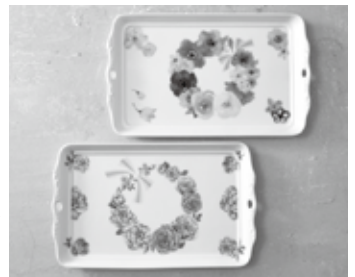
## 【転写紙コース】チェックシート

### Lesson 1 磁器用単色転写紙の色見本

- 色の並びは見本作品通りの位置でデザインします。リムに貼った「黄」が上(12時の位置)になるようにして、中央部分の文字と金の転写紙を貼ってください。
- 
- 単色転写紙に重ね貼りする転写紙はクラフトパンチを使用しなくても構いません。ただし、大きさは各色の1/4以内の面積にとどめてください。①単色1枚、②同色、③ホワイト(ソフト)、④ホワイト(ハード)の各色の重ね貼りが見えるようにしてください。
  - 色見本ネーム転写紙の文字は、パステルカラー転写紙の「パステル」は貼る場所が狭いので、その部分をカットして省いても構いません。(省かず入れていただいても構いません。)

### Lesson 2 柄転写紙の分解・構成1～変形～

- 花柄をリース状に組み、リース内にリボンを配置します。花同士の重なりはカッターでカットして片方を取り除きます。花とリボンは初めから重ならないように配置します。この時、リボンと花が離れてしまうとリース状にならないので、離れないように貼ってください。



- リボンは1つにしてください。
- リボンの大きさは参考作品に準じてください。極端に大きくする、または小さくすると課題が不十分になります(花数の減少、メタリック転写紙の重ね貼りの不足など)。
- 柄転写紙の花の重なりは参考作品を参照し、十分重ねて配置してください(重なった柄転写紙の下側の不要な柄はカットして取り除きます)。

- 柄転写紙の花の上にリボンを重ねないでください。(重なる部分の柄転写紙をカットして取り除くのではなく、初めからリボンの位置を考慮して重ならないように柄転写紙の位置を考えます。)
- リースのまわりに貼る柄転写紙は「3枚以上」ではなく「3か所以上」貼ります。3枚の転写紙を構成して作った柄は1か所と数えます。

### Lesson 3 柄転写紙の分解・構成2～見立て～

- 見立ては、柄転写紙の元々の形状を利用して、本来の絵柄と直接関連のない別の形に組み直します。柄転写紙を使用して輪郭をとったり、転写紙の色のみを利用してクラフトパンチで抜いたりすることは見立てにはなりません。



- リボンを分解構成して大きい豪華なリボンにすることは見立てにはなりません。
- リボン柄の転写紙は元がリボンであったことがわかる範囲でカットして使用してください。(ただし、次のような状態での補助的な使用については補助的な範囲内なら可としますが、制作の量的な規定に対しては無効とします。①リボンの端を細く切って花の茎にする②リボンを見立てずにリボンのままで使用する)
- 見立てた大、中、小の大きさの絵柄は、同じ見立てでなくても構いません。

### Lesson 4 単色転写紙リムアレンジ1～ストライプ～

- 香水瓶は同色の重ね貼りで表現してください。他に重ね貼りがあっても、白抜きは認められません。



- 香水瓶の重ね貼り(ラベル以外)は、香水瓶自体の形を変えなければ、同色で瓶をストライプや水玉にするなど好みにしても構いませんが、白抜きにはしないでください。

### Lesson 6 単色転写紙へのベタ貼り1～曲面～ つなぎ処理

- 使用する単色転写紙の色はカップとソーサーで同色を使用してください。



### Lesson 7 単色転写紙のベタ貼り1～曲面・球面～ 複数の白磁パーツへ絵柄を合わせる貼り方

- ふた、ソーサー、ポット背面およびポットとカップの正面に続けて貼る柄は、分解構成で重ね貼りで下にくる転写紙をカットして取り除いても結構ですが、カップ背面の縁に掛けて貼る柄は分解構成などをせず、1枚の転写紙を貼ってください。



### Lesson 8 ガラス用転写紙の色見本

- 色見本の転写紙の内側をパンチ、ハサミ、カッターなどで穴をあけたり(切り抜かない)、重ね貼りをしないでください。



- 裏白と裏白なしの柄転写紙の色見本は、単色の柄やラスターの転写紙は使用せず、複数色の上絵の具で刷られた柄転写紙を使用してください。
- 裏白の転写紙には白一色で刷られた柄転写紙は該当しません。下記の裏白転写紙一覧にある転写紙の中からご使用ください。

#### 『ポーセラーツ総合カタログVol.5』掲載のガラス用転写紙 裏白

S369	ガラス用ベビープレス
S370	ガラス用オーキッドフラワー
S339	ガラス用ガーリーフラワー
S346	ガラス用プルメリア
S242	ガラス用ローズ・レッドクローバー
S365	ガラス用レース・ジュエルフラワー
S374	ガラス用花づめ

- メタリック転写紙、金の転写紙はそれぞれメタリックのみ、金のみで刷られた転写紙を使用してください。

## Lesson 9 オリジナルデザイン ガラス作品 ～カップ&ソーサー～

- 【制作規定変更】“分解・構成をしていれば、変形または見立てをしなくてもよいことにします”



制作規定の[技法]に「(カップ、ソーサーはそれぞれに)柄転写紙の分解・構成(変

形または(見立て)をする」という項目がありますが、「(カップ、ソーサーはそれぞれに)柄転写紙の分解・構成をする。」に変更します。(変形または見立てをしていても構いません。)

変更理由:「課題写真を確認しやすく撮ることが難しい」、「課題がしやすい転写紙が少ない」などの総合的判断によります。

- 【使用教材範囲変更】使用するガラス用転写紙の選択範囲に日本キルンアート協会公式WEBサイト「Kiln Art」取扱品を加えます。

## Lesson 10 修了作品 ～オリジナルデザイン マグカップ&プレート～

- 800℃と650℃の2つの焼成温度を使い、オリジナルデザインで制作します。



- 制作手順も他のレッスンの制作手順を参考に、ここで制作する作品の手順を第三者が理解できるように記入してください。「転写紙を切った、貼った」では何の転写紙をどう切ったのか分かりません。工夫点分かるように、読んだだけでどんな作品が出来上がるか想像できるように記入してください

- 2回目の650℃焼成では金の転写紙を、1回目で焼成(800℃)してある転写紙の上に重ね貼りをしてください。

転写紙と白磁両方にかかるように貼って焼成して制作している方が見受けられますが、白磁上の金の転写紙は650℃では焼き付きません。【転写紙コース】テキストの39ページをご確認の上、焼成計画を見直してください。

作品を作ってしまった場合は修正してください。また、必要に応じて加飾してください。

修正する場合は「白磁上の金の転写紙部分を金消しゴムで消す」こととなります。

白磁上に金の転写紙を貼りたい場合は1回目の800℃でします。

- マグカップ、プレートはそれぞれに柄転写紙の分解・構成のバリエーションの(変形)または(見立て)をしてください。分解して、各パーツを離して貼ることは構成したひとつの絵柄とは認められません。

- 【使用教材範囲変更】使用する転写紙の選択範囲に日本キルンアート協会公式WEBサイト「Kiln Art」取扱品を加えます。

## 【上絵の具・装飾コース】チェックシート

### Lesson 5 転写紙上への着色 ～オンデキヤールメディウム～

- [文字盤の数字]ローマ数字、アラビア数字でも構いませんが、1～12まですべて文字(数字)で表してください。(丸や四角、模様、記号などは不可)



- [文字盤の数字]大きさは実用する時計として成立する大きさにしてください。大きさに極端な大小はつけないでください。

- [文字盤の数字]位置は実用する時計として成立する位置にします。(例えば通常12の位置に他の数字を置いたり、12を1に近づけたりすることなどは避けてください。)

- [単色転写紙の使用範囲]①:文字盤の数字、②:自分でデザインを考えたメインの絵柄、③:①②への補助的な使用。(柄転写紙を使用せず、単色転写紙のみも可ということです。)

\*単色転写紙の使用は必須ではありません。

- 重ね貼りした転写紙の上にオンデキヤールメディウムを使用した着色はしないでください。

### Lesson 6 オリジナル作品 ～上絵の具～

- チェックシート3ページ「ポイント」に記載の制作手順例は参考作品の手順ではありません。2回の焼成を考えるヒントとして掲載したものです。



- 参考作品のプラークの縁は金の転写紙(N005)を使用しています。Lesson6の段階では、転写紙は既に【転写紙コース】で習得済みですが、金液(マーカー含む)を使用した金彩はまだ学んでいません。Lesson6で制作するのは「上絵の具の技法を活かし

た作品制作」なので転写紙は補助的な使用のみとなります。また、学んでいない金液類は使用しないでください。

- 【使用教材範囲変更】使用する転写紙の選択範囲に日本キルンアート協会公式WEBサイト「Kiln Art」取扱品を加えます。ただし、上絵の具は『ポーセラーツカタログ』（総合カタログ、限定カタログ）から選択してください。

## Lesson 9 ラスター彩

- カラーラスター液は複数色ではなく、1色のみを使用してください。（カラーラスター液1色とラスター液パール）



- 使用教材2回目の「K140 仕切りトレイ」が販売終了となりました。代替えとして「A312 レスト付きトレイ002」をご使用ください。

## Lesson 11 ガラス用上絵の具の色見本

- スポンジ部分は各色3.5cm角程度の面積であれば形状は自由ですが、スポンジ部分をマスキングなどで白抜きにはしないでください。



スポンジを行う面積とグラデーションの効果が減ります。

## Lesson 12 オリジナルガラス作品～グラス～

- 掲載の参考作品は上絵の具のステンシルで制作されていますが、学んだ技法（テキスト、チェックシート）の範囲内であればステンシルでなくても構いません。



## Lesson 13 修了作品1 ～オリジナルデザイン ティーセット～

- 【使用教材範囲変更】使用する白磁、転写紙の選択範囲にそれぞれ日本キルンアート協会公式WEBサイト「Kiln Art」取扱品を加えます。ただし、上絵の具は『ポーセラーツカタログ』（総合カタログ、限定カタログ）から、また、ラスター液は『ポーセラーツインストラクターカリキュラム【上絵の具・装飾コース】カタログ』から選択してください。

## Lesson 14 修了作品2 ～オリジナルデザイン インテリアアイテム～

- 【使用教材範囲変更】使用する転写紙、および、26リムブランク額、時計針（時計皿用ムーブメント）の選択範囲にそれぞれ日本キルンアート協会公式WEBサイト「Kiln Art」取扱品を加えます。ただし、上絵の具は『ポーセラーツカタログ』（総合カタログ、限定カタログ）から、また、ラスター液は『ポーセラーツインストラクターカリキュラム【上絵の具・装飾コース】カタログ』から選択してください。

## Lesson 13,14 レッスン13とレッスン14の 共通の制作規定(A4表裏の用紙)

- 1つの技法につきティーセット、またはインテリアアイテムのどちらかで使用すれば結構です。例えば、「A技法またはB技法」となっている場合、ティーセット、またはインテリアアイテムのどちらかでAかBの技法をしていただければ結構です。また、両方にしていただいても構いません。

❗ わからないと思うことがあった場合は、まずはチェックシート、テキスト、本紙をご確認ください。また、作品制作での細かい点（特に〇〇をしていいのかどうか）で迷うときは、参考作品をご確認ください。参考作品でしていないことは規定範囲外の場合があります。

## 申請書類

※申請書類に不備があると手続きは保留になります。

- 『カリキュラムチェックシート』：【転写紙コース】【上絵の具・装飾コース】とも、チェックシート一式には各レッスンのチェックシート以外に、表紙（全体の課題が分かるレッスン課題作品やチェックシートの説明を掲載したもの）となるシートがあります。

本部事務局が申請内容を確認後、この用紙に登録確認印を押して返却しますので、お忘れなくご提出ください。

※ご提出があるまで登録手続きは保留になります。

- 『ポーセラーツメンバー会員登録申請書』（黄色い用紙）：焼成環境の欄には「所有機種名」または「焼成依頼先」のどちらか一方を必ずご記入ください。
- 資格登録申請先は（株）日本ヴォーグ社 日本キルンアート協会 ポーセラーツ倶楽部本部事務局です。カリキュラムを終え、書類が整いましたら速やかに申請してください。なお、個別の作品について、申請前の審査は行いません。

## チェックシート訂正・変更点

B512『ポーセラーツ インストラクターカリキュラム【転写紙コース】チェックシート』およびB517『ポーセラーツ インストラクターカリキュラム【上絵の具・装飾コース】チェックシート』の記載内容に誤りがありました。下記の通り訂正させていただきます。また、皆様からのご質問やご意見を踏まえて表現などを変更いたします。お手数をおかけいたしますが、ご確認いただき、ご指導の際は生徒さんへ伝達くださいますようお願いいたします。なお、以前にお知らせしている項目もまとめて掲載しております。

### 転写紙コース

#### Lesson 4

##### ● 4ページ目の制作手順の番号

誤) 12

正) 13 以降、順に番号を1つ増やす。

##### ● (上記の様に番号を直した上で) 制作手順16

はじめに「ティッシュペーパーを取り除いて」を入れる。

##### ● (番号を直した上で) 制作手順17

文末に「(2本)」を加える。

#### Lesson 5

##### ● 制作手順4 文章全体を分かりやすく変更します。

4、単色転写紙にリムに沿って半円を描き、その線上に、2でプレートの裏面に付けた4分割の印に従って印を付ける(3か所)。この3つの印を使用して、半円の直径の中心点に印を付ける。半円の線に沿ってはさみでカットする。2色を1枚ずつカットする。

##### ● 制作手順5の2行目

誤) 5の転写紙の内側

正) 4の転写紙の内側

##### ● 制作手順7の1行目

誤) プレートに

正) デイバイダーシートに

##### ● 制作手順8の2行目

誤) 6の転写紙を

正) 5の転写紙の

##### ● 制作手順16

文末に「(2本)」を加える。

##### ● 動物の型紙

各動物の型紙に3、4ページの写真に合わせて細かい修正を加えました。3、4ページに掲載の写真を参考にするので出来上がりには影響しません。

#### Lesson 6

##### ● 使用教材 単色転写紙

同色2枚とします。

#### Lesson 7

##### ● 制作規定 [ポット、カップ]の最後に追加

\*ポット上部背面には、柄転写紙を貼ってもよい。

##### ● 制作手順1回目 7の2行目

誤) 上部との段差に合わせ貼る

正) 糸底のまわりに合わせるように貼る

##### ● 制作手順1回目 8の1行目

誤) 下端の

正) ポット上部との段差

##### ● 制作手順2回目

誤) [ふた、ポット本体背面、ソーサー]

正) [ふた、ソーサー]

##### ● 制作手順2回目

誤) 1、柄転写紙を分解構成してそれぞれに貼る。

正) 1、柄転写紙をそれぞれに貼る。

#### Lesson 8

##### ● 使用教材 左側の最後に追加

\*盛り転写紙、金下転写紙、クリンカー転写紙は使用不可。

##### ● 制作規定 左側の最後に追加

\*単色転写紙は内側をくり抜かないこと。

\*柄転写紙は、裏白、裏白でないもの共に複数色で刷られている部分を使用する。

\*メタリック転写紙、金の転写紙は、それぞれメタリックのみ、金のみで刷られた転写紙を使用する。

##### ● 制作規定 右側一番上の行

誤) P.3型紙通りのデザイン(並び、配置)で制作する。

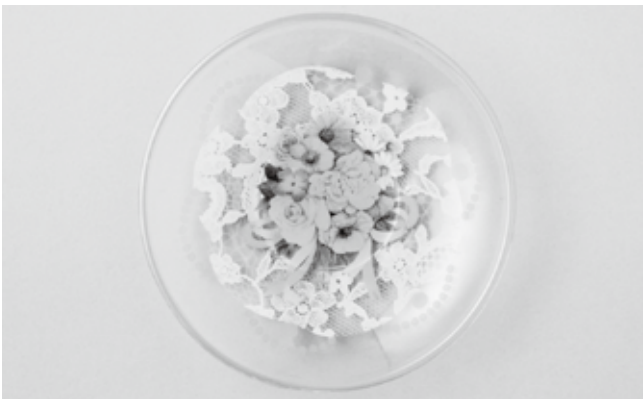
正) P.3型紙通りの並び、配置で制作する。

##### ● 参考作品の型紙

メタリックとGOLD転写紙部分の図が1×10cmになっていました。2ページの制作規定の欄に記載の1×9cm程度に合わせて9cmにしてください。(10cmで制作されていても問題ありません。)

## Lesson 9

- チェックシートに掲載の参考作品写真を間違えておりました。こちらの写



- 使用教材の一番下を変更 ※使用教材範囲の変更による  
\*ガラス用転写紙は『ポーセラーツカタログ』（総合カタログ、限定カタログ）、日本キルンアート協会公式WEBサイト「Kiln Art」取扱品から選択。
- 使用教材 最後に追加  
\*盛り転写紙、金下転写紙、クリンカー転写紙は使用不可。
- 制作規定[技法]最終行 ※規定の変更による  
元柄転写紙の分解・構成(変形)または(見立て)をする。  
変更)柄転写紙の分解・構成をする。

## Lesson 10

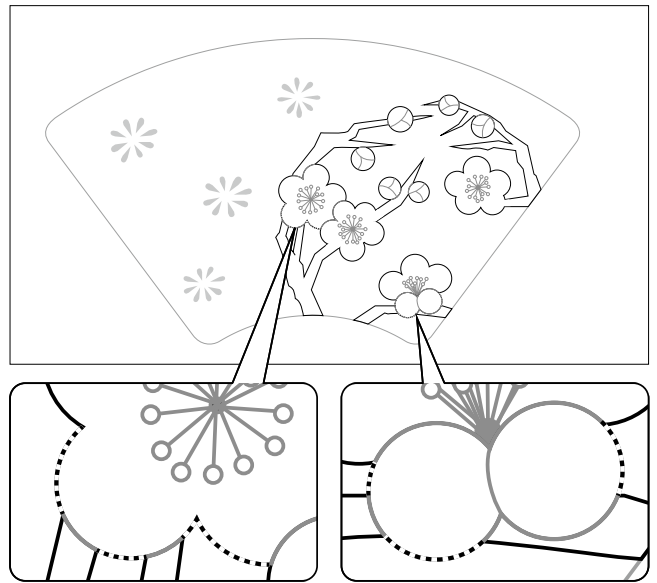
- 使用教材の一番下を変更 ※使用教材範囲の変更による  
\*転写紙は『ポーセラーツカタログ』（総合カタログ、限定カタログ）、日本キルンアート協会公式WEBサイト「Kiln Art」取扱品から選択。
- 使用教材 最後に追加  
\*盛り転写紙、金下転写紙、クリンカー転写紙は使用不可。

### 上絵の具・装飾コース

#### Lesson 3

- 図案

一部に訂正があります。



..... マスキング&ペンワーク

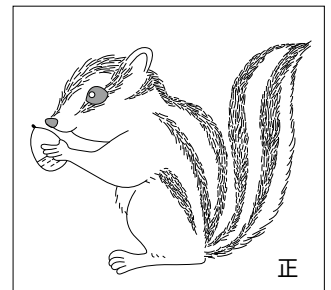
#### Lesson 4

- 見本作品1の図案

リスのからだの縞模様

...誤)2本→正)3本

1ページの写真に合わせて  
縞模様を増やして  
ご制作ください。



#### Lesson 5

- 使用教材 中段の一番下の項目  
誤)単色転写紙(お好みの色～  
正)□単色転写紙(お好みの色～

## Lesson 6

- **使用教材の一番下を変更** ※使用教材範囲の変更による  
\*転写紙は『ポーセラーツカタログ』（総合カタログ、限定カタログ）、日本キルンアート協会公式WEBサイト「Kiln Art」取扱品から選択。  
\*上絵の具は『ポーセラーツカタログ』（総合カタログ、限定カタログ）から選択。

- **使用教材 最後に追加**

\*盛り転写紙、金下転写紙、クリンカー転写紙は使用不可。

- **2ページ 参考作品「スクラッチ」のアップ写真は「マスキングリキッド」の写真でした。**

スクラッチ部分は「スポンジング上へのペンワーク」の写真の上方の細い白抜きになります。

## Lesson 7

- **2ページ 右下写真**

誤)太字芯

正)中字芯

- **制作規定[セラミック・マーカー(ゴールド)]の項の1行目**

誤)太字芯

正)中字芯

- **3ページ 制作手順2回目 3の2行目**

誤)太字芯

正)中字芯

## Lesson 9

- **使用教材2回目中段**

「K140 仕切りトレイ」を「A312 レスト付きトレイ002」に変更

※「K140 仕切りトレイ」の販売終了のため。

- **使用教材 最後に追加**

\*盛り転写紙、金下転写紙、クリンカー転写紙は使用不可。

## Lesson 10

- **使用教材 1回目**

誤)□単色転写紙(お好みの色)。ホワイトの使用不可。

正)□単色転写紙(お好みの色)。ホワイト、シャンパン転写紙の使用不可。

## Lesson 11

- **制作規定 [デザイン]**

誤)P.3型紙通りのデザイン(並び、配置)で制作する。

正)P.3図案通りの並び、配置で制作する。

- **制作規定 左側の最後に追加**

\*上絵の具のスポンジングは内側の白抜きなど不可。

## Lesson 13

- **使用教材の一番下を変更** ※使用教材範囲の変更による

\*白磁は『キルンアートカタログ』（総合カタログ、限定カタログ）、日本キルンアート協会公式WEBサイト「Kiln Art」取扱品から選択。

\*ラスター液は『ポーセラーツインストラクターカリキュラム【上絵の具・装飾コース】カタログ』から選択。

\*転写紙は『ポーセラーツカタログ』（総合カタログ、限定カタログ）、日本キルンアート協会公式WEBサイト「Kiln Art」取扱品から選択。

\*上絵の具は『ポーセラーツカタログ』（総合カタログ、限定カタログ）から選択。

- **使用教材 最後に追加**

\*盛り転写紙、金下転写紙、クリンカー転写紙は使用不可。

## Lesson 14

- **使用教材の一番下を変更** ※使用教材範囲の変更による

\*26リムプラーク額、時計針(時計皿用ムーブメント)は『キルンアートカタログ』（総合カタログ、限定カタログ）、日本キルンアート協会公式WEBサイト「Kiln Art」取扱品から選択。

\*ラスター液は『ポーセラーツインストラクターカリキュラム【上絵の具・装飾コース】カタログ』から選択。

\*転写紙は『ポーセラーツカタログ』（総合カタログ、限定カタログ）、日本キルンアート協会公式WEBサイト「Kiln Art」取扱品から選択。

\*上絵の具は『ポーセラーツカタログ』（総合カタログ、限定カタログ）から選択。

- **使用教材 最後に追加**

\*盛り転写紙、金下転写紙、クリンカー転写紙は使用不可。